

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	障害者スポーツ	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	スポーツトレーナー科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	適宜資料を配布する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	伊藤	実務経験の有無・職種	無		
<b>学習目的</b>					
<p>スポーツは競技として行うだけでなく、余暇の充実や健康づくりなど、その目的はさまざまです。</p> <p>またスポーツは、幼児から高齢・障がい者まで幅広い層に親しまれています。</p> <p>指導の対象者には何らかの障害があるということを踏まえ、その障害について正しく理解しておく必要があり、また身体状況や心理的・社会的な側面のみならず、スポーツについて動きの要素や特性、危険な要素も含めて理解し、指導ができるようになることを目的とします。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>対象者の障害や体力を理解し、安全に楽しくかつ公平におこなうことができるよう、障害の状況にあわせて指導することができます。</p> <p>基本的な運動能力を伸ばすことを心がけ、人の心を元気にさせる、やる気をおこさせるためのスポーツ指導ができるようになることが目標です。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	適宜資料を配布しながら進めていきます。また資料のみでは伝わりにくい情報などは、映像教材を利用して、理解を深めるよう促していきます。随所にレポート等（課題）やグループワークを活用し知識の習得のみならず、障害に応じたスポーツ（レクリエーション的な要素が濃い）を創作することによって、創造力も養っていきます。場合によっては体育館も使用しますので、動きやすい服装も用意して下さい。				
注意点	授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。この授業では学生間・教員と学生のコミュニケーションの機会を設けます。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応していきます。理由のない遅刻や欠席は認めません。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます（詳しくは、最初の授業で説明）。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	障がい者スポーツ指導員について	障がい者や指導者を理解することができます。			
2回	障がい者福祉政策と障がい者スポーツ	障がい者の現状や政策、障がい者スポーツを理解することができます。			
3回	ボランティア論と障がい者スポーツの意義と理念①	ボランティアとは何か、障がい者スポーツの在り方を理解します。			
4回	ボランティア論と障がい者スポーツの意義と理念②	ボランティアと障がい者スポーツの関わりを理解します。			
5回	障がい各論	各障害について理解します。			
6回	リスクマネジメントについて	障がい者スポーツのみならず、スポーツにおける安全管理について理解します。			
7回	障害の理解とスポーツ①	身体障害に適したスポーツを理解します。			
8回	障害の理解とスポーツ②	知的障害に適したスポーツを理解します。			
9回	障害の理解とスポーツ③	精神障害に適したスポーツを理解します。			
10回	障害に応じたスポーツの工夫・実施①	障害に応じたスポーツを各グループで考え、実演できる。			
11回	障害に応じたスポーツの工夫・実施②、障害とスポーツのまとめ	障害に応じたスポーツを各グループで考え、実演できる。			
12回	障がい者スポーツ指導者（資格について）	障がい者スポーツ指導者について理解します。			
13回	各大会概要等	障がい者スポーツの各大会の意義等を理解します。			
14回	障がい者スポーツについて	障がい者スポーツについてお互いの考えを共有し、理解します。			
15回	まとめ	各障害について理解し、障がい者と健常者の関わり方について議論、理解します。			